

Media Contact:

金原真奈美

pr-jp@blackmagicdesign.com

Tel: (03) 5465 2101

New York City Mediaの「Half-Life」、 「Maturity」のパイロット版の 編集およびグレーディングにDaVinci Resolveを使用

2018年2月13日 - Blackmagic Design はこの日、1月よりオンエアされる New York City (NYC) Media の2つの新番組、「Half-Life」および「Maturity」のパイロット版で、編集およびグレーディングに DaVinci Resolve 14 が使用されたことを発表した。NYC の Mayor's Office of Media and Entertainment (MOME) と、ニューヨーク市立大学ブルックリン校の Feirstein Graduate School of Cinema により、300本以上のシナリオの中から選ばれたこの2本が映像化され、NYC Media を受信する1千8百万以上の世帯に放送されることになった。

パティ・キャリーペラーゾ (Patty Carey-Perazzo) 氏による脚本、制作の「Half-Life」は、要望の多い家族と映画制作との間で板挟みになっているパティが主人公。ロビン・ローズ・シンガー (Robin Rose Singer) 氏による「Maturity」は、ブロンクスの高齢者介護施設で働き始めたばかりの、カンザス出身の看護師、ジェシカ・メドウブルックが主人公。どちらの作品も NYC で撮影され、Feirstein Graduate School of Cinema でポストプロダクションが行われた。

この2つの番組のポストプロダクション・プロデューサーを務めたチャールズ・ハイン (Charles Haine) 氏は、編集チームと相談して、パイロット版の編集とカラーコレクションに DaVinci Resolve 14 を使用することを決めた。2つの番組のカラーコレクションはアレックス・バーマン (Alex Berman) 氏が担当。「Half-Life」の編集はケイトリン・コルテス (Kaitlyn Cortes) 氏、「Maturity」の編集はリリー・クレイマン (Lily Kleinman) 氏がそれぞれ担当した。

「どちらのプロジェクトも、特有の編集とグレーディングが必要とされ、やりがいのあるものでした。

『Half-Life』の撮影は5日間かけて行われ、30ヶ所のロケ地で2台のカメラを使用しました。

『Maturity』は介護施設が舞台のホームコメディスタイルだったので、暗くなりがちな雰囲気、グレーディングで明るく陽気な雰囲気に変えました。両作で、一貫性のあるルックでストーリーを展開するには、ポストプロダクションの早い段階でハイエンドの編集とカラーコレクションが必要でした。これが、私たちが DaVinci Resolve 14 を選択した理由です。」

「Half-Life」でコルテス氏に求められたのは、家庭と、NYC を拠点とするロケハンというプロの仕事、この2つの世界に板挟みとなっている緊張感を出すことであった。30ヶ所のロケ地で複数のカメラを使って撮影された、ルックや雰囲気の異なる膨大な量のフッターがコルテス氏に届けられた。コルテス氏は、DaVinci Resolve の新しいチャット機能を使ってアシスタントエディターと緊密に協力し合いながら編集を行った。また、DaVinci Resolve のダイナミック・プロジェクト・スイッチング機能を使うことで、プロジェクトのスピーディな切り替えや、クリップ、タイムライン、ノード設定のコピー&ペーストが可能となった。

「DaVinci Resolve の編集ツールはとても使い勝手が良く、すぐに使いこなせるようになりました。DaVinci Resolve には優れた機能が搭載されているので、新しい編集方法を簡単に試すことができました。特にダイナミック・プロジェクト・スイッチング機能は重宝しましたね。」コルテス氏は続ける。「ページを閉じずにプロジェクトを切り替えられることで、シームレスなワークフローを実現できました。全く異なるルックのフッテージを扱う際に様々なアイデアを試すことができたんです。」

「カラリストのアレックスと同じシステムを使えたこともよかったですね。2 人とも DaVinci Resolve 14 で作業していたので、ソフトウェアに内蔵されたチャットシステムを使用しました。このおかげで、編集作業が波に乗りましたね」とコルテス氏。

一方、「Maturity」の編集を行ったクレイマン氏は、2 台のカメラを使って数日間に渡って撮影されたフッテージを、編集で 1 日の出来事にまとめる必要があった。「数日間の出来事を描くストーリーと、24 時間の出来事を描くストーリーでは、編集が全く異なってきます。ルックや雰囲気マッチさせるだけでなく、ストーリーの整合性を保つために、編集とカラーコレクションの調和が不可欠です。DaVinci Resolve の編集機能は非常にパワフルで、ユーザーインターフェースはとても使い易いです」とクレイマン氏。

クレイマン氏はまた、カラリストと同じソフトウェアで作業できる利点を最大限に利用した。「撮影監督は、Red カメラでフラットなデイリーを撮影したので、デイリーで編集について決めると、作品の雰囲気が分かりづらくなってしまいます。一方、DaVinci Resolve で編集とグレーディングを行う場合、変更ごとにラウンドトリップする必要がないため、グレーディングを施した様々な編集をすばやく確認できます。早い段階のミーティングでは、編集よりもグレーディングされていない色に注目が向けられがちですが、グレーディングされていないシーンを見せずにすんだので、色についてのコメントは聞かれなかったですね。」

両作のパイロット版のグレーディングを担ったバーマン氏は、一連のユニークな課題に取り組むことになった。

「『Half-Life』での最初の課題は、異なる時間帯、日照条件で撮影された各シーンの照明に一貫性を持たせることでした。シーンのバランスを調整した後、DaVinci Resolve の Power Window を使って特定の人物にフォーカスし、必要に応じて顔にシャープニングをかけました。また、特定のクリップでは、窓の外の風景をいじって被写界深度を調整しました。」

バーマン氏は続ける。「撮影監督は、6K の美しい映像を撮影しました。もともとワイドショットで撮影したものをクロップしてクローズアップにしたショットもあります。ワイドショットとクローズアップでは、画像のテクスチャーの違いが明らかだったので、様々な大きさに拡大した映像で DaVinci Resolve のノイズ除去ツールを使用し、さらにシャープニングを施しています。ワイドショットの構図のまま使用する画像は、ブラーツールを用いてエッジを柔らかくしました。このような作業によって、テクスチャーを統一することができました。」

「『Maturity』の場合、撮影手法自体も大きなメリットでした。監督と撮影監督と私で、絵画のようなルックを作り上げたんです。モネの絵画のように柔らかくピュアな、印象主義っぽいルックです。さらにサチュレーションと濃いブラックを調整してルックを強調しました。主演の女優さんは、石膏のように滑らかな肌トーン

と、それとコントラストを成すたっぷりとした赤毛を持っていました。各シーンのルックの方向性がどのようなものであれ、この2つはそのまま残すようにしました」とバーマン氏。

「寒々とした曇り空の日に撮影したシーンは、明るく温かみのあるハッピーな雰囲気にしたかったんです。DaVinci Resolve のカスタムカーブでそのような雰囲気に近づけ、ウィンドウ内のHSL クオリファイアーを使うことで主人公の肌トーンをそのまま残しました。また、DaVinci Resolve の Camera Raw パレットを使うと、特定のクリップのISOと露出を調整することで、ハイライトのディテールを簡単に回復させることができました。この機能は作業に不可欠でしたね。」バーマン氏は最後にこう結んだ。

「Half-Life」、 「Maturity」 は2018年1月にNYC Mediaで放映。詳細は
<http://www.ny1.com/nyc/all-boroughs>

会社概要

Blackmagic Designは、映画、ポストプロダクション、放送業界に向けて世界最先端のビデオ編集製品、デジタルフィルムカメラ、カラーコレクター、ビデオコンバーター、ビデオモニタリング、ルーター、ライブプロダクションスイッチャー、ディスクレコーダー、波形モニター、リアルタイム・フィルムスキャナーを開発している。Blackmagic DesignのDeckLinkキャプチャーカードは、その品質と価格で放送業界に革命をもたらした。また、エミー™ 賞を受賞したDaVinciカラーコレクションシステムは、1984年以降、テレビ、映画業界の中心となっている。Blackmagic Designは、現在も6G-SDI、12G-SDI製品、ステレオスコピック3D、Ultra HDワークフローなどの独創的な革新を続けている。世界をリードするポストプロダクションエディターやエンジニアにより設立されたBlackmagic Designは、現在アメリカ合衆国、イギリス、日本、シンガポール、そしてオーストラリアにオフィスを構えている。詳細は
www.blackmagicdesign.com/jp